

朝岡興禎編『古画備考』三十一「浮世絵師伝」(嘉永三年四月十七日起筆)

(歌川豊春の項)

歌川豊春【住日本橋、明和頃ヨリ寛政、号一龍斎】

或豊信トス誤力、芝神明町ニ住云々別歟
近來浮世画ヲ錦画ニ書出セリ、宝曆頃ノウキヨ画ニマサレリ、
江川八左衛門曰、元大阪町ノ画馬屋ニテ、段々書アゲタリ

(補)「署名」「一龍斎歌川豊春画」「印章」「一龍斎」(二字不明)之印(白文方印)

門人 **豊広**【張交セ小キ一枚摺画墨画ナド書リ】

(補)「署名」「歌川豊広画」「印章」「一柳斎」(朱文方印)美人画絹立

山田祐之、俗称嘉助

後高門人ニ入、元來浮世画ナレドモ、品格宜シク、一時摺物ノ画、祐之
悉画キテ行レシガ、少シ時代衰へ、画モハヤラズ、後中ノ郷ノ商家ニ、退
隠シテ寄食シ、ハリコノ画ヲカキ、素川方ニ食客トナリ居タリシトゾ

門人 **豊国**【寛政ヨリ文化】

錦画を書に、墨と紫ばかりの画を好む、役者の似貌をも能写す、通三丁目、
画馬屋息子、豊国たこ画を書く【浮世画類考】

(補)「署名」「三囲社頭俳優并絃妓絹彩立

「歌川豊国写」「印章」「一陽斎」(朱文方印)「豊国」(白文方印)

文政七年正月七日死、五十七歳、聖坂功運寺に葬、称熊吉、号一陽斎、豊
春の門人にて一家をなす、享和之末世に行はれたり、門人数多あり、柳島
法性寺の碑陰に、見えたり、武江年表

門人 **国政** 役者ノ似貌ヲ能写ス、中山富二郎、似貌最似タリ、浮世絵類考

門人 **豊国** 二代目

門人 **豊** (々)

女子 実子八此女子一人也

門人 **豊** (々)